

與謝野秀 しよの じゆんげ 隨筆家。明治二十七年七月七日東京生れ、昭和四十六年一月二十五日歿（一九〇一七二）。外交官。與謝野寛・晶子の次男。昭和二年東京帝國大學法學部政治學科卒。外務省入省、戦後ヴェネギア、エジプト、スペイン、イタリアの大使・大使を務めた。二十七年オリンピック東京大會組織委員会事務総長に就任。四十三年原子力委員会委員。

著書に『歐羅巴雜記帳』（昭和二十二年一月二十日、復刊・二十七年一月二十日双山社）、『縁なき時計—續歐羅巴雜記帳』（昭和二十二年四月二十五日栄花書房）、『その日・あの日—ヨーロッパの想ひ出』（昭和二十五年十月十日ジーア社）、『オリンピック雜記帳』（昭和四十年四月二十五日毎日新聞社）等。

